

■第2回 江別市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に係る協議会でいただいたご意見の概要 <令和5年5月30日実施>

【1 地球環境】

- 再生可能エネルギー由来の電気を使っていることを示すという意味で、トラッキング付きの非化石証書※を有効に活用してはどうか。
- 貸し電動自転車の電源を再エネ由来の電源にしてはどうか。
- 車を手放した高齢者が利用できる貸し自転車事業を進めるのは良いこと。
- 事業者にとってコスト負担はマイナス要因であるため、資金や予算などトータルで支援してもらいたい。
- 国と連携して補助金を上手く活用してほしい。
- 国の「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」を進める新国民運動官民連携協議会のワーキンググループ等に参加することで、他企業・他団体等との連携・情報交換が深まると思う。
- 省エネ診断のようなものをサービスとして活性化していただけるとありがたい。
- 事業コストの低減にあたり、CO2 削減におけるクレジット化が大きな課題であるため、大学の研究や CO2 排出量の見える化などで連携して J-クレジット化※できないか。
- 地域の中で、CO2 削減に関するクレジットをより使えるようになると良いと思う。

【2 資源循環】

- 家畜ふん尿、食料残渣物や汚泥と組み合わせることができれば、有効な肥料をつくることができ、残渣物の処理も進むのではないか。
- 市内企業との連携や情報共有の仕組みづくりが大切ではないか。
- 市内の堆肥化施設 1 か所だけでは、なかなか受け入れが難しく稼働しないのではないか。
- 「食品リサイクル・ループ」※事業というものがあり、特区のように特別な取組を何らかの形で認められるように上手く活用できないか。
- 廃屋や空き家を解体する際の助成はどうか。

【5 環境教育・パートナーシップ】

- 環境教育、環境学習の内容について明確にしてはどうか。

【その他】

- 企業版ふるさと納税など、寄付に限らず、資金を募る様々な場を活用してはどうか。
- 情報提供のあり方について、市のホームページのここに行けばこの情報があるなど、もう少し何とかできないか。
- 環境関連団体の連絡先が市のホームページに載っていたと思うが、環境に対して様々な取組を行っている事業者も紹介してはどうか。
- 計画の推進体制においては、環境関連団体や教育機関なども含まれていることを見える形にしてはどうか。

※ 非化石証書：CO2 を出さない電気には、「環境価値」があり、その環境価値のひとつである「非化石価値」を取り出し、証書のかたちにして売買を可能にしたもの。トラッキング付きとは、環境価値である証書の由来となる電源種や発電所所在地等の属性情報が明らかになったもの

※ J-クレジット制度：省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による CO2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO2 等の吸収量をクレジットとして国が認証する制度

※ 食品リサイクル・ループ：食品関連事業者等から排出される食品廃棄物を再生利用した飼料・肥料を農畜水産物の生産に利用し、生産した農畜水産物を食品関連事業者が改めて販売する等の取組